お米と。あなたと。
木徳神糧

2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月６日

上 場 会 社 名	木徳神糧株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	2700	URL	https://www.kitoku-shinryo.co.jp/
代　　表　　者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）鎌田　慶彦	
問合せ先責任者	（役職名）取締役常務執行役員管理部門統括	（氏名）稲垣　英樹	（TEL）03-3233-5121
配当支払開始予定日	ー		
決算補足説明資料作成の有無	：無		
決算説明会開催の有無	：無		

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	132,349	1.1	△1,121	ー	△1,196	ー	△1,796	ー
2025年12月期第３四半期	130,903	50.4	7,964	377.1	8,011	358.4	5,463	342.2

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　△1,923百万円（　ー%）　2025年12月期第３四半期　5,432百万円（ 332.0%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
2026年12月期第３四半期	△219.58	ー
2025年12月期第３四半期	668.61	ー

（注）当社は、2025年７月１日付で普通株式１株につき５株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「１株当たり四半期純利益」を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	49,856	18,324	35.4
2025年12月期	56,612	21,034	36.1

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　17,673百万円　　2025年12月期　20,430百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2025年12月期	ー	100.00	ー	70.00	ー
2026年12月期	ー	25.00	ー		
2026年12月期(予想)				25.00	50.00

（注）１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

（注）２．当社は、2025年７月１日を効力発生日として、普通株式１株につき５株の割合で株式分割を行っております。2025年12月期の１株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。株式分割を考慮した場合の2025年12月期における第２四半期末の１株当たり配当金は20円、年間配当金は90円となります。

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	177,000	0.5	△4,900	―	△5,000	―	△5,000	―	△611.14

(注) １．直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　：　無

新規　　ー社（社名）　　、除外　　ー社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	8,530,000株	2025年12月期	8,530,000株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	344,918株	2025年12月期	351,418株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	8,181,408株	2025年12月期３Ｑ	8,172,015株

(注) 当社は、2025年７月１日付で普通株式１株につき５株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首には当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間（2026年１月１日～2026年９月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資の持ち直し等を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方、物価上昇が個人消費の下押し要因となったほか、中東情勢や海外経済の動向、為替・金利の変動等により、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループが属する食品流通業界におきましては、商品価格の上昇が販売金額を支える一方、消費者の生活防衛意識や節約志向は引き続き強く、販売数量や買上点数は力強さを欠きました。また、物流費・人件費等の上昇が続き、安定供給と収益の確保が課題となりました。

当社グループ主力の米穀事業を取り巻く環境は、米価の高止まりによる需要の伸び悩みから令和７年産米の流通在庫が積み上がり、在庫消化を優先した値下げ競争が激化しました。さらに、令和８年産米が前年産を下回る価格水準で出回るなか、高値で調達した令和７年産米の販売は厳しい状況が続きました。飼料事業では、円安や輸入原料価格の上昇が採算を圧迫しました。鶏卵事業では、相場が高い水準で推移するなか、夏季の需要減退や猛暑による供給面への影響がみられました。

このような環境下において、当社グループは、米穀事業における在庫圧縮に向け、量販店等への販促提案やブレンド米の販売、新規販売先の開拓等に取り組みました。また、飼料事業では取扱商品の拡大や既存取引先への深耕営業を進め、鶏卵事業では販売価格の改定や仕入条件の見直し等に取り組みました。

しかしながら、米穀事業において在庫消化を優先した価格対応により粗利率が大幅に低下しました。販売費及び一般管理費は前年同期を下回り、飼料事業及び鶏卵事業も増益となったものの、主力である米穀事業の採算悪化を補うには至りませんでした。

また、今後の業績動向を踏まえ繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、法人税等調整額473百万円を計上しました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は132,349百万円（前年同期比1.1％増）、営業損失は1,121百万円（前年同期は営業利益7,964百万円）、経常損失は1,196百万円（前年同期は経常利益8,011百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,796百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益5,463百万円）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

なお、第１四半期連結会計期間より報告セグメント区分を変更しております。詳細については、Ｐ．９「（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）Ⅱ３．報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

①米穀事業

米穀事業におきましては、令和７年産米の在庫消化を優先した販促・価格対応により、一部の量販店等向けで販売数量の回復がみられました。一方、高い調達原価に対して販売価格が下落し、粗利率の低下が収益を大きく圧迫しました。９月中旬以降は、一部の販売先で不採算の販促企画の見直しや新米への切替えを進めました。

海外事業では、MA米・SBS米の落札件数や検収時期の違いにより売上高が前年同期を下回りました。また、国産米の価格下落や他の輸入米との競合により、輸入米の国内販売は数量・採算ともに低下しました。

この結果、米穀事業の売上高は115,735百万円（前年同期比0.4％増）、営業損失は928百万円（前年同期は営業利益8,559百万円）となりました。

②飼料事業

飼料事業におきましては、糟糠類の仕入れを強化し、販売を拡大しました。輸入乾牧草も既存取引先への深耕営業により伸長したほか、きのこ培地向け原料の販売が大幅に増加し、新たな商材の取扱いも開始しました。

利益面では、飼料用米等の取扱数量の減少、円安による輸入商材の仕入価格上昇が圧迫要因となったものの、糟糠類やきのこ培地向け原料の販売拡大が増益に寄与しました。

この結果、飼料事業の売上高は8,340百万円（前年同期比10.0％増）、営業利益は409百万円（同8.8％増）となりました。

③鶏卵事業

鶏卵事業におきましては、一部の量販店・外食向けで販売数量が伸び悩んだものの、主力取引先への販促提案や販売価格の改定、仕入条件の見直しを進めました。

夏季の猛暑による大きなサイズの卵の不足や外食の季節メニュー向け需要への対応が求められるなか、安定調達と供給の確保に努めました。利益面では、主力商品の価格改定効果や取引条件の改善が収益の向上に寄与しました。

この結果、鶏卵事業の売上高は8,273百万円（前年同期比3.3％増）、営業利益は260百万円（同23.4％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末における総資産は49,856百万円となり、前連結会計年度末と比べ6,756百万円の減少となりました。これは主に前渡金の増加額4,191百万円、未収還付法人税等の増加額1,406百万円等に対し、受取手形及び売掛金の減少額2,968百万円、棚卸資産の減少額9,214百万円等があったためであります。

負債につきましては負債合計が31,531百万円となり、前連結会計年度末と比べ4,046百万円の減少となりました。これは主に短期借入金の増加額3,926百万円等に対し、支払手形及び買掛金の減少額6,414百万円、未払法人税等の減少額2,341百万円等があったためであります。

純資産につきましては純資産合計が18,324百万円となり、前連結会計年度末と比べ2,710百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金の減少額2,573百万円、繰延ヘッジ損益の減少額183百万円等があったためであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の通期連結業績予想につきましては、2026年10月30日に公表いたしました修正後の業績予想から変更はありません。修正内容及びその理由につきましては、同日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,146,506	5,040,306
受取手形及び売掛金	14,887,738	11,919,409
商品及び製品	6,183,604	4,924,255
仕掛品	805,951	530,451
原材料及び貯蔵品	16,124,989	8,445,389
前渡金	1,830,571	6,021,750
未収入金	597,675	458,910
未収還付法人税等	－	1,406,287
その他	729,853	430,344
貸倒引当金	△1,752	△488
流動資産合計	46,305,137	39,176,618
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,464,591	1,418,154
機械装置及び運搬具（純額）	1,593,878	1,383,865
土地	2,087,183	2,085,486
リース資産（純額）	11,366	11,037
その他（純額）	28,969	36,091
有形固定資産合計	5,185,989	4,934,635
無形固定資産		
ソフトウエア	37,246	32,385
リース資産	5,709	4,155
その他	22,520	22,520
無形固定資産合計	65,477	59,061
投資その他の資産		
投資有価証券	4,582,004	5,249,710
長期前払費用	104,823	74,646
繰延税金資産	1,099	1,844
差入保証金	345,908	338,017
その他	23,710	23,409
貸倒引当金	△1,272	△1,805
投資その他の資産合計	5,056,274	5,685,822
固定資産合計	10,307,741	10,679,519
資産合計	56,612,879	49,856,137

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,964,508	5,550,026
短期借入金	11,752,626	15,679,084
1年内返済予定の長期借入金	2,452,020	1,821,520
リース債務	6,443	6,899
資産除去債務	18,000	18,000
未払金	1,675,454	1,043,779
未払法人税等	2,364,961	23,277
賞与引当金	304,890	346,925
役員賞与引当金	25,295	－
解体撤去引当金	137,000	137,000
その他	2,023,916	4,941,678
流動負債合計	32,725,116	29,568,190
固定負債		
長期借入金	2,578,280	1,326,390
リース債務	10,633	8,293
繰延税金負債	135,480	515,413
資産除去債務	18,281	4,043
その他	110,472	109,494
固定負債合計	2,853,147	1,963,634
負債合計	35,578,263	31,531,825
純資産の部		
株主資本		
資本金	529,500	529,500
資本剰余金	456,959	468,390
利益剰余金	18,325,831	15,752,167
自己株式	△268,651	△261,453
株主資本合計	19,043,639	16,488,604
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,161,727	1,133,912
繰延ヘッジ損益	132,097	△51,730
為替換算調整勘定	93,095	103,076
その他の包括利益累計額合計	1,386,919	1,185,258
非支配株主持分	604,055	650,449
純資産合計	21,034,615	18,324,312
負債純資産合計	56,612,879	49,856,137

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	130,903,885	132,349,441
売上原価	117,273,599	128,344,876
売上総利益	13,630,285	4,004,565
販売費及び一般管理費	5,666,048	5,126,294
営業利益又は営業損失（△）	7,964,236	△1,121,729
営業外収益		
受取利息	3,790	7,168
受取配当金	111,220	122,731
受取保険金	4,045	5,412
不動産賃貸料	28,142	24,558
為替差益	34,332	－
貸倒引当金戻入額	72	124
その他	62,934	88,872
営業外収益合計	244,536	248,867
営業外費用		
支払利息	117,827	219,054
不動産賃貸費用	3,425	3,319
為替差損	－	14,369
遊休資産諸費用	24,816	24,110
その他	51,489	62,619
営業外費用合計	197,559	323,474
経常利益又は経常損失（△）	8,011,213	△1,196,335
特別利益		
固定資産売却益	－	5,745
特別利益合計	－	5,745
特別損失		
固定資産売却損	－	239
固定資産除却損	2,500	30,879
投資有価証券評価損	3,354	－
減損損失	－	1,696
特別損失合計	5,854	32,815
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	8,005,359	△1,223,405
法人税、住民税及び事業税	2,582,890	31,184
法人税等調整額	△86,372	473,049
法人税等合計	2,496,517	504,233
四半期純利益又は四半期純損失（△）	5,508,841	△1,727,639
非支配株主に帰属する四半期純利益	44,959	68,872
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	5,463,882	△1,796,511

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	5,508,841	△1,727,639
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△758	△27,814
繰延ヘッジ損益	5,135	△183,827
為替換算調整勘定	△80,587	15,586
その他の包括利益合計	△76,210	△196,055
四半期包括利益	5,432,630	△1,923,695
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,416,899	△1,998,172
非支配株主に係る四半期包括利益	15,730	74,477

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 (自　2025年１月１日 至　2025年９月30日)	当第３四半期連結累計期間 (自　2026年１月１日 至　2026年９月30日)
減価償却費	376,311千円	378,446千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	米穀事業	飼料事業	鶏卵事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	115,314,238	7,583,196	8,006,450	130,903,885	－	130,903,885
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	367,077	1,649	715	369,442	△369,442	－
計	115,681,315	7,584,845	8,007,165	131,273,327	△369,442	130,903,885
セグメント利益	8,559,436	376,226	210,756	9,146,419	△1,182,183	7,964,236

(注) １．セグメント利益の調整額△1,182,183千円は各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	米穀事業	飼料事業	鶏卵事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	115,735,292	8,340,383	8,273,766	132,349,441	－	132,349,441
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	277,564	3,357	－	280,921	△280,921	－
計	116,012,856	8,343,740	8,273,766	132,630,363	△280,921	132,349,441
セグメント利益又は損失（△）	△928,329	409,222	260,159	△258,947	△862,781	△1,121,729

(注) １．セグメント利益又は損失（△）の調整額△862,781千円は各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失（△）と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに配分された減損損失はありません。
報告セグメントに配分されていない減損損失は1,696 千円であり、その内訳は土地1,696千円であります。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来「米穀事業」「飼料事業」「鶏卵事業」「食品事業」に区分しておりましたが、組織変更に伴いセグメント区分の見直しを行い、第１四半期連結会計期間の期首より「食品事業」を「米穀事業」に移管しております。

なお、前第３四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント区分に基づき作成したものを開示しております。